

平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年10月26日

上場会社名 JSR株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4185 URL http://www.jsr.co.jp  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 小柴 満信  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 小島 昌尚 TEL (03)6218-3517  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月10日 配当支払開始予定日 平成27年11月26日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	195,133	△2.4	19,119	6.6	16,816	△13.2	12,514	△3.8
27年3月期第2四半期	199,900	5.9	17,933	0.5	19,370	△5.0	13,007	△1.1

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 5,437百万円 (△66.9%) 27年3月期第2四半期 16,451百万円 (△10.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	54.68	54.54
27年3月期第2四半期	55.35	55.22

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	515,901	356,276	68.3	1,562.43
27年3月期	534,592	364,673	67.0	1,557.08

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 352,444百万円 27年3月期 358,302百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
28年3月期	—	25.00			
28年3月期(予想)			—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	400,000	△1.0	41,000	7.7	39,500	△5.1	30,000	0.3	131.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	237,973,205株	27年3月期	237,973,205株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	12,399,181株	27年3月期	7,861,771株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	228,859,365株	27年3月期2Q	234,989,880株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

平成27年10月26日（月）に、決算説明資料を当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成27年4月1日から同年9月30日）の概況

当社グループの主要な需要業界におきましては、自動車生産は、北米は堅調に推移しましたが、中国は7月以降減速した他、国内は前年割れとなりました。自動車タイヤ生産は、中国を中心としたアジア地域で減速傾向となり、国内も前年を下回って推移しました。また、合成ゴム及びブタジエンの需給バランスが悪化した状況が継続しました。

半導体市場におけるスマートフォンや多機能携帯端末向け需要は引き続き堅調に推移しました。また、フラットパネル・ディスプレイの生産は、ほぼ前年並となりました。

このような状況のもと、当社グループは、石油化学系事業では、技術的に優位性を持つ製品のグローバルな拡販、情報電子材料を中心とした多角化事業では、半導体最先端技術に対応した素材への注力、高成長が期待される中国市場でのディスプレイ材料の拡販等を進めております。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は1,951億33百万円（前年同期比2.4%減）、営業利益191億19百万円（同6.6%増）、経常利益168億16百万円（同13.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益125億14百万円（同3.8%減）となりました。

（単位：百万円）

区分	前第2四半期 連結累計期間		当第2四半期 連結累計期間		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	比率
売上高						
エラストマー事業	98,201	49.1%	90,287	46.3%	△7,914	△8.1%
合成樹脂事業	26,968	13.5%	26,938	13.8%	△29	△0.1%
多角化事業	74,730	37.4%	77,907	39.9%	3,177	4.3%
合計	199,900	100.0%	195,133	100.0%	△4,766	△2.4%

国内売上高	94,692	47.4%	86,320	44.2%	△8,372	△8.8%
海外売上高	105,207	52.6%	108,813	55.8%	3,605	3.4%

区分	前第2四半期 連結累計期間		当第2四半期 連結累計期間		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	比率
営業利益	17,933	9.0%	19,119	9.8%	1,186	6.6%
経常利益	19,370	9.7%	16,816	8.6%	△2,554	△13.2%
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,007	6.5%	12,514	6.4%	△492	△3.8%

## (セグメントの業績)

## (エラストマー事業部門)

合成ゴムの販売につきましては、国内タイヤ生産の低調等により販売数量が減少したことに加え、市況の低迷もあり売上高は減少しました。

利益は、販売量が減少したほか、合成ゴム及びブタジエンの需給バランス悪化によるスプレッド縮小も継続し、前年同期を下回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間のエラストマー事業部門の売上高は前年同期比8.1%減の902億87百万円、営業利益は前年同期比21.8%減の39億3百万円となりました。

## (合成樹脂事業部門)

合成樹脂の販売につきましては、国内雑貨・アミューズメント向けや海外自動車用途で販売数量が増加しましたが、原料価格の下落により売上高は前年同期並みとなりました。

利益は、販売数量増加に原料価格下落による採算改善が加わり、前年同期を上回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の合成樹脂事業部門の売上高は前年同期比0.1%減の269億38百万円、営業利益は前年同期比242.3%増の27億77百万円となりました。

## (多角化事業部門)

半導体材料の販売につきましては、スマートフォンや多機能携帯端末向け需要の堅調が継続し、売上高は前年同期並みとなりました。ディスプレイ材料の販売につきましても、売上高は前年同期並みとなりました。

戦略事業その他の販売につきましては、ライフサイエンス分野で診断試薬材料の売上が伸びた他、KBI Biopharma, Inc.の連結子会社化もあり、売上高は前年同期を上回りました。

多角化事業部門全体の利益は、ライフサイエンス分野の収益改善により、前年同期を上回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の多角化事業部門の売上高は前年同期比4.3%増の779億7百万円、営業利益は前年同期比2.5%増の124億38百万円となりました。

## (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の実績を踏まえ、平成27年4月22日に公表した平成28年3月期の連結業績予想を変更し、売上高4,000億円（前年比1.0%減）、営業利益410億円（同7.7%増）、経常利益395億円（同5.1%減）、親会社株主に帰属する当期純利益300億円（同0.3%増）といたしました。

## (連結業績予想)

	今回予想 (A)	前回予想 (B)	増減額 (A-B)	増減率
売上高	4,000億円	4,200億円	△200億円	△4.8%
営業利益	410億円	410億円	—	—
経常利益	395億円	420億円	△25億円	△6.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	300億円	310億円	△10億円	△3.2%

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	47,984	39,587
受取手形及び売掛金(純額)	83,122	80,105
有価証券	67,997	73,997
たな卸資産	79,320	81,048
その他	40,971	26,655
流動資産合計	319,396	301,394
固定資産		
有形固定資産	115,913	115,220
無形固定資産		
のれん	6,479	6,374
その他	7,818	7,100
無形固定資産合計	14,298	13,474
投資その他の資産		
投資有価証券	74,509	74,091
その他	10,473	11,719
投資その他の資産合計	84,983	85,811
固定資産合計	215,195	214,506
資産合計	534,592	515,901
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	72,441	64,996
短期借入金	18,639	19,852
その他	35,245	31,780
流動負債合計	126,327	116,629
固定負債		
長期借入金	20,387	21,210
退職給付に係る負債	13,745	13,775
その他	9,458	8,008
固定負債合計	43,591	42,994
負債合計	169,918	159,624
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	23,320	23,320
資本剰余金	25,179	25,179
利益剰余金	291,151	299,287
自己株式	△15,329	△24,299
株主資本合計	324,321	323,486
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,257	16,250
為替換算調整勘定	14,575	12,629
退職給付に係る調整累計額	148	78
その他の包括利益累計額合計	33,981	28,957
新株予約権	852	890
非支配株主持分	5,518	2,942
純資産合計	364,673	356,276
負債純資産合計	534,592	515,901

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## (四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	199,900	195,133
売上原価	149,740	141,121
売上総利益	50,159	54,012
販売費及び一般管理費	32,226	34,892
営業利益	17,933	19,119
営業外収益		
受取配当金	457	581
為替差益	1,188	-
持分法による投資利益	-	618
その他	710	468
営業外収益合計	2,356	1,669
営業外費用		
為替差損	-	2,777
その他	919	1,194
営業外費用合計	919	3,972
経常利益	19,370	16,816
特別損失		
投資有価証券評価損	509	-
事業再編損	-	223
関係会社出資金売却損	-	363
特別損失合計	509	586
税金等調整前四半期純利益	18,861	16,230
法人税等	6,285	5,670
四半期純利益	12,576	10,559
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△431	△1,955
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,007	12,514

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	12,576	10,559
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,411	△2,962
為替換算調整勘定	2,399	△2,046
退職給付に係る調整額	94	△70
持分法適用会社に対する持分相当額	△29	△41
その他の包括利益合計	3,875	△5,121
四半期包括利益	16,451	5,437
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,649	7,648
非支配株主に係る四半期包括利益	△198	△2,211

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	18,861	16,230
減価償却費	8,144	8,899
受取利息及び受取配当金	△581	△705
支払利息	164	184
持分法による投資損益(△は益)	77	△618
投資有価証券評価損益(△は益)	509	-
売上債権の増減額(△は増加)	3,437	1,813
たな卸資産の増減額(△は増加)	△731	△3,055
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,423	△6,509
その他	9,968	15,009
小計	36,426	31,247
利息及び配当金の受取額	806	944
利息の支払額	△150	△94
法人税等の支払額	△7,141	△5,918
営業活動によるキャッシュ・フロー	29,940	26,179
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	△1,498	10,478
有価証券の増減額(△は増加)	△22,000	△8,500
固定資産の取得による支出	△12,110	△16,147
投資有価証券の取得による支出	△414	△930
関係会社出資金の払込による支出	-	△1,234
関係会社株式の取得による支出	△1,262	△3,129
貸付けによる支出	△1,102	△456
貸付金の回収による収入	1,415	2,513
その他	△252	652
投資活動によるキャッシュ・フロー	△37,225	△16,753
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,477	△577
長期借入金の返済による支出	△876	△862
長期借入れによる収入	2,209	3,466
自己株式の取得による支出	△268	△8,996
配当金の支払額	△4,495	△4,581
非支配株主への配当金の支払額	△28	△32
その他	△5	△104
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,944	△11,688
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,245	△214
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△10,983	△2,477
現金及び現金同等物の期首残高	91,114	77,906
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	498	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	80,629	75,428

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	エラストマー 事業	合成樹脂事業	多角化事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	98,201	26,968	74,730	199,900	—	199,900
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,839	—	—	1,839	△1,839	—
計	100,041	26,968	74,730	201,740	△1,839	199,900
セグメント利益(営業利益)	4,992	811	12,129	17,933	—	17,933

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	エラストマー 事業	合成樹脂事業	多角化事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	90,287	26,938	77,907	195,133	—	195,133
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,053	—	—	2,053	△2,053	—
計	92,341	26,938	77,907	197,187	△2,053	195,133
セグメント利益(営業利益)	3,903	2,777	12,438	19,119	—	19,119

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。